

2015年3月期決算説明会

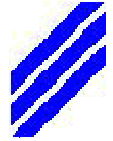
2015年6月11日



三光産業株式会社
SANKO SANGYO CO.,LTD.

(証券コード:7922)

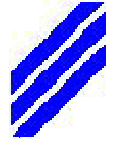
目次



会社概要	p.3
前期決算概況と今期予想	p.8
今後の事業展開	p.14
補足資料	p.25

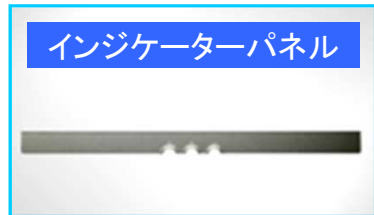
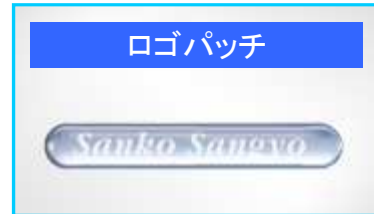
会社概要

主な製品



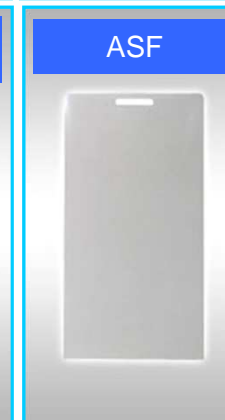
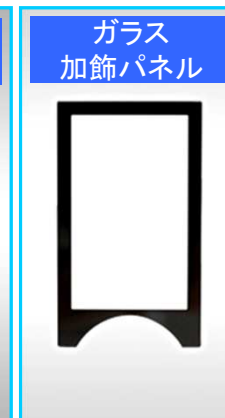
タッチパネル関連製品に成長ドライバーをシフト

シール・ラベル印刷関係

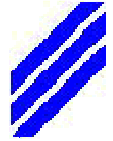


タッチパネル関連製品

※画像表示パネルの「印刷段差吸収技術」において、特許を取得

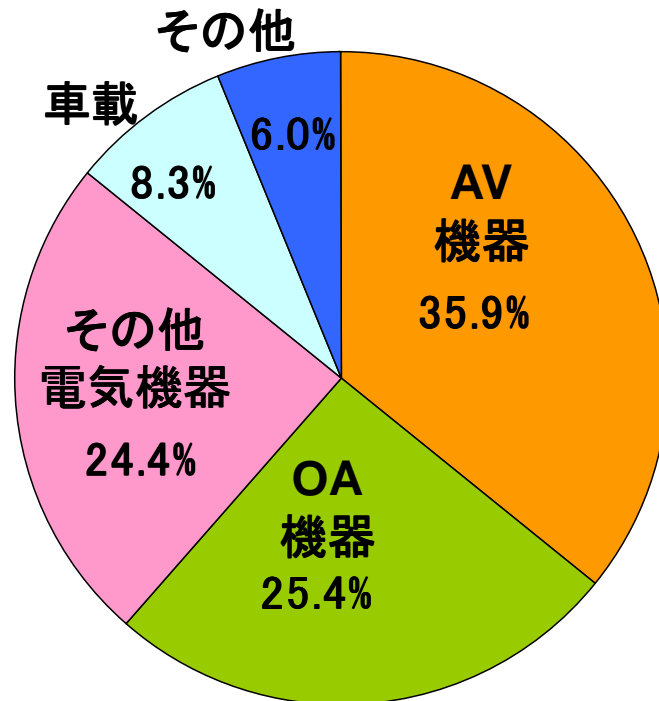


売上構成

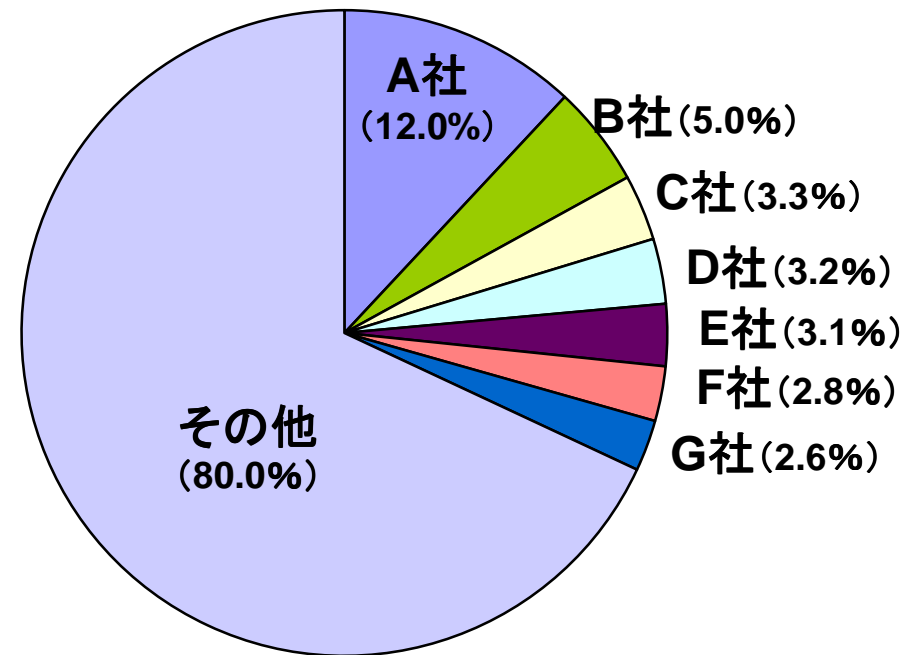


2015/03期

業種別売上構成(連結)



顧客別売上構成(単独)



NEC TDK アルプス電気 オリナス ソニー 大日本印刷
凸版印刷 パナソニック 日立製作所 富士ゼロックス
三菱電機等 約1000社(敬称略) (五十音順)

生産拠点

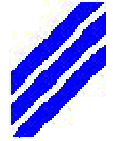


従業員数:2015年3月現在 生産実績:15/03期 単位:百万円

	所在地	印刷方式	建物面積 ^{m²} (従業員数)	生産実績
方南工場	東京都杉並区	シール主体	1,211 (17)	251
千曲川工場	長野県佐久市	輪転機主体	2,406 (8)	156
川越工場	埼玉県川越市	オフセット主体	4,578 (27)	441
大阪工場	大阪府東大阪市	シール・シルク主体	948 (15)	366
マレーシア	セラゴンゴール洲 シャーラム市	シール・シルク・輪転機主体	2,986 (132)	429
中国深圳	中国深圳市	シール・シルク・輪転機主体	2,200 (280)	1,118
三光プリンティング	東京都板橋区	シール主体	611 (17)	182

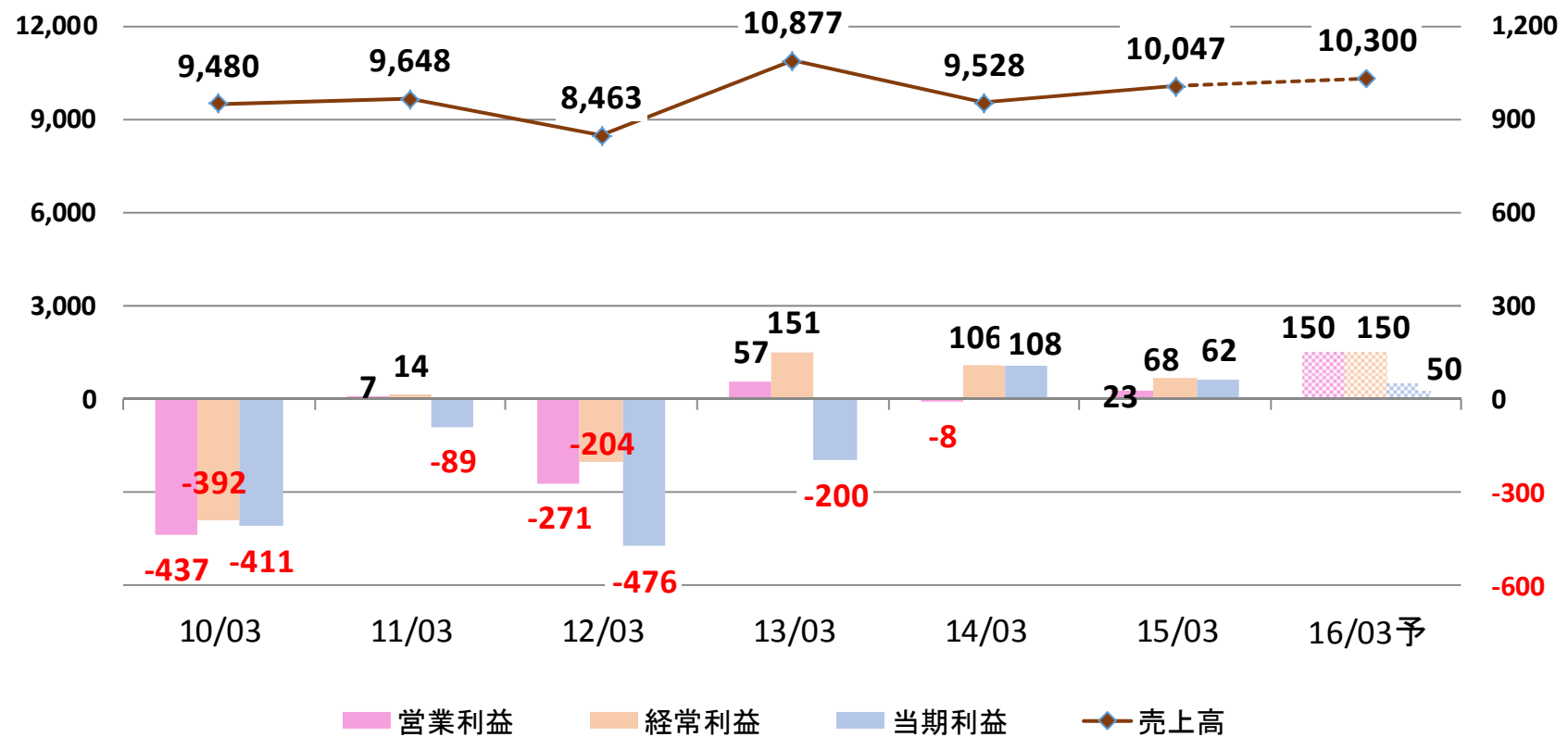
※大阪工場は賃借物件

業績推移



● 緩やかながらも売上高・利益ともに回復傾向

(単位:百万円)



前期決算概況と今期予想

決算概要



単位: 百万円, %

	14/03期		15/03期			16/03期 計画		
	金額	構成比	金額	伸長率	構成比	金額	伸長率	構成比
売上高	9,528	100.0	10,047	5.4	100.0	10,300	2.5	100.0
AV機器	2,416	25.4	3,608	49.3	35.9	3,700	2.5	35.9
OA機器	3,430	36.0	2,548	▲25.7	25.4	2,600	2.0	25.2
その他電気機器関連	2,251	23.6	2,447	8.7	24.4	2,500	2.2	24.3
輸送用機器関連	708	7.4	835	17.9	8.3	800	▲4.2	7.8
その他	722	7.6	608	▲15.9	6.0	700	15.1	6.8
売上総利益	1,818	19.1	1,848	1.7	18.4	1,950	5.5	18.9
営業利益	▲8	▲0.1	23	—	0.2	150	552.2	1.5
経常利益	106	1.1	68	▲35.8	0.7	150	120.6	1.5
当期純利益	108	1.1	62	▲42.6	0.6	50	▲19.4	0.5

前期決算トピックスと今期予想

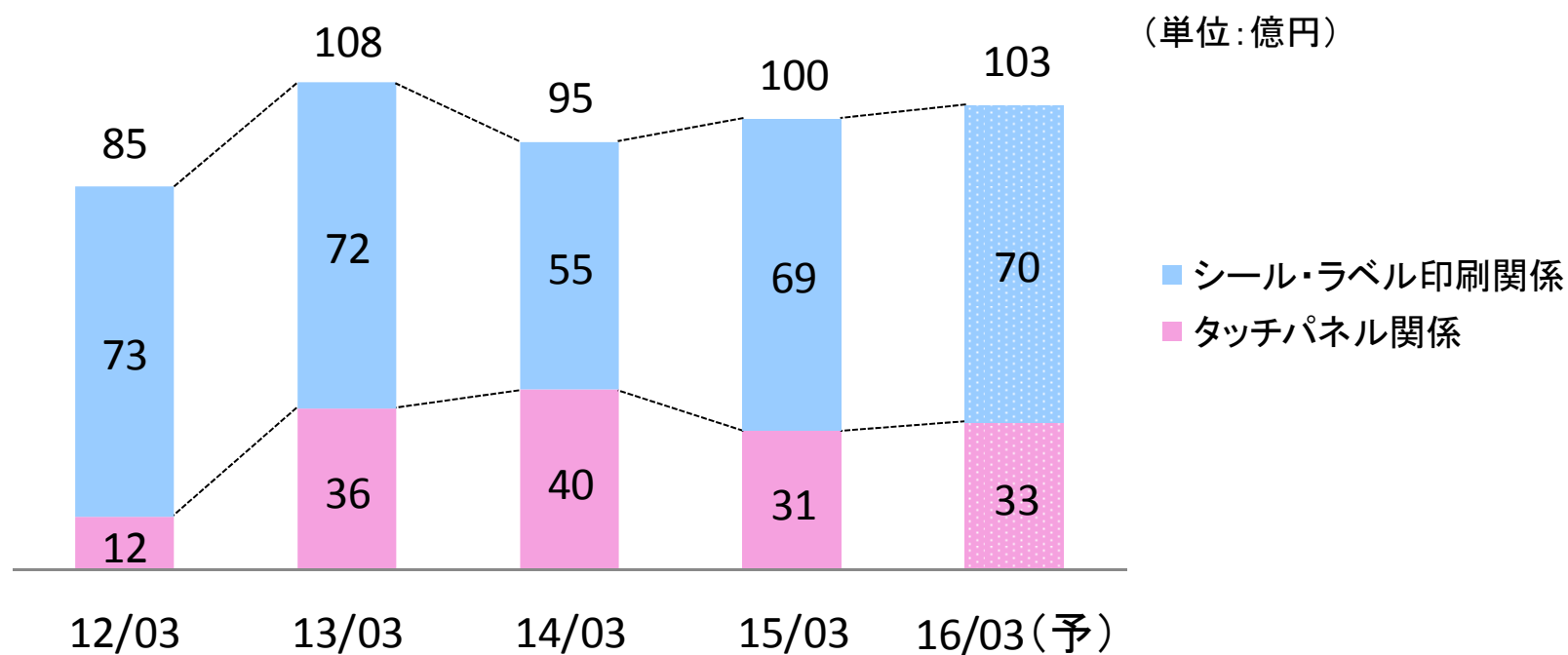


15/03実績	売上	<ul style="list-style-type: none"> ● AV関連の受注獲得が好調で国内・海外とも増収 ● タッチパネル関連は、非携帯・スマホ関連の受注が順調
	利益	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内においては、原価低減および効率化が進み収支改善傾向が顕著 ● 中国は、稼働率の低下などの影響で赤字幅拡大 ● 最新設備導入や国内からの人員派遣で改革を進めるマレーシアも、収支改善に至らず
16/03計画	売上	<ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネル関連製品の営業強化とともに、既存ビジネスについても取りこぼしなく受注獲得を図り増収を維持 ● ASEAN地域での営業強化(タイ新現法の早期戦力化)
	利益	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内は、関東地域の工場統廃合と最新設備導入により、さらなる効率の改善を推進 ● 中国・マレーシアの赤字解消に向けた諸施策の実施

既存・新規事業の売上高



シール・ラベル印刷関係(既存事業)と タッチパネル関連製品(新規事業)の売上高推移



拠点別収益



日本

	14/03	15/03
売上高	5,895	5,984
セグメント利益	162	254

- 12年10月に希望退職募集による人員削減を実施。以降、生産体制再編による効率化を推進
- 今期は関東周辺の工場の統廃合を実施。さらなる効率性を追求し収益基盤を強固にする

中国

	14/03	15/03
売上高	3,138	3,403
セグメント利益	▲31	▲94

- 適正規模案件の受注にターゲットを絞り込み、安定利益の確保を狙うも、稼働率低下、為替影響等で、前期は赤字幅拡大
- 今期は、タッチパネル関連製品の収益安定化を進め、赤字解消を目指す

マレーシア

	14/03	15/03
売上高	495	658
セグメント利益	▲127	▲128

- コスト高による日系企業の周辺国へのシフト、現地企業との競合による採算悪化。日本からの人的支援により黒字化を目指す。成果に至らず
- 今期は、生産効率の改善(歩留り向上)を強力に推し進め、赤字縮小を目指す

貸借対照表



	14/03 期末	15/03 期末	増減
流動資産	(6, 985)	(7, 563)	(+578)
現金及び預金	3, 351	3, 235	▲116
売上債権	2, 546	3, 254	+708
棚卸資産	918	943	+25
その他流動資産	170	131	▲39
固定資産	(4, 102)	(4, 195)	(+93)
資産合計	(11, 088)	(11, 758)	(+670)
流動負債	(1, 913)	(2, 350)	(+437)
買入債務	1, 521	1, 954	+433
その他流動負債	392	396	+4
固定負債	(448)	(399)	(▲49)
退職給付引当金	366	319	▲47
その他固定負債	82	80	▲2
負債合計	(2, 362)	(2, 750)	(+388)
株主資本	(8, 447)	(8, 467)	(+20)
その他の包括利益累計額	(48)	(338)	(+290)
少数株主持分	229	203	▲26
純資産合計	8, 725	9, 008	+283
負債純資産合計	(11, 088)	(11, 758)	(+670)

単位:百万円

今後の事業展開

中期展開の柱



- 従来型のシール・ラベル印刷関係は緩やかながらも成長を目指す
 - ⇒ 海外シフト案件を取りこぼしなく営業活動を実施

- 中長期的な成長ドライバーとしてタッチパネル関連製品の受注強化
 - ⇒ ①携帯・スマホ向けは生産能力に合った案件獲得に注力
 - ⇒ ②継続的な受注が見込める車載・デジカメ等の営業を強化

- 新規市場の開拓
 - ⇒ 社内横断的なプロジェクトチームにて商品開発を強化

事業環境と経営課題



(タッチパネル関連製品) 新規事業

- 2011/03期より本格的に取り組み、前2013/03期に大型案件の獲得や新規機種への採用などにより大幅に受注を伸ばしたが、その後は期中のアップダウンが大きい
- 受注競争激しく、粗利率が既存事業に比べ低いうえに、中心の携帯・スマホ向けは製品ライフサイクルが短く売上・利益が不安定
- 一方、車載向けが着実に案件を上積みするなど、安定収益の積み上げは進展
- 国内ー海外(深圳)の拠点間の営業面での連携強化、R&Dー営業ー生産ー物流のバリューチェーンの確立が課題

多様なビジネスチャンスの追求

(シール・ラベル印刷関係) 既存事業

- メーカーの海外生産移管の動きは変わらず。国内でも一部メーカーの動きは活発化
- 国内事業については、人員削減及び生産体制の再編効果により固定費削減。安定的に利益が出せる体制ができつつある。今期関東地域での工場統廃合を進め、さらに効率化を図る
- 海外事業は、今後重要性の増す東南アジアマーケットでの営業力強化、生産効率の改善が課題。マレーシアにおいては、さらに踏み込んだ本社支援を実施
- 中国においては、受注環境は厳しく収益改善に遅れ。電池パック分野など一部印刷技術を活かした加工製品の受注の取り込みなどで稼働率改善を図る

限定的だが成長機会を探る



タッチパネル関連製品の事業拡大と収益性向上

- 携帯・スマホは生産能力に見合った適正規模の案件獲得に注力
- ライフサイクルの長い車載(カーナビ・他)、デジカメ等の受注強化

国内外における営業・生産体制の再編

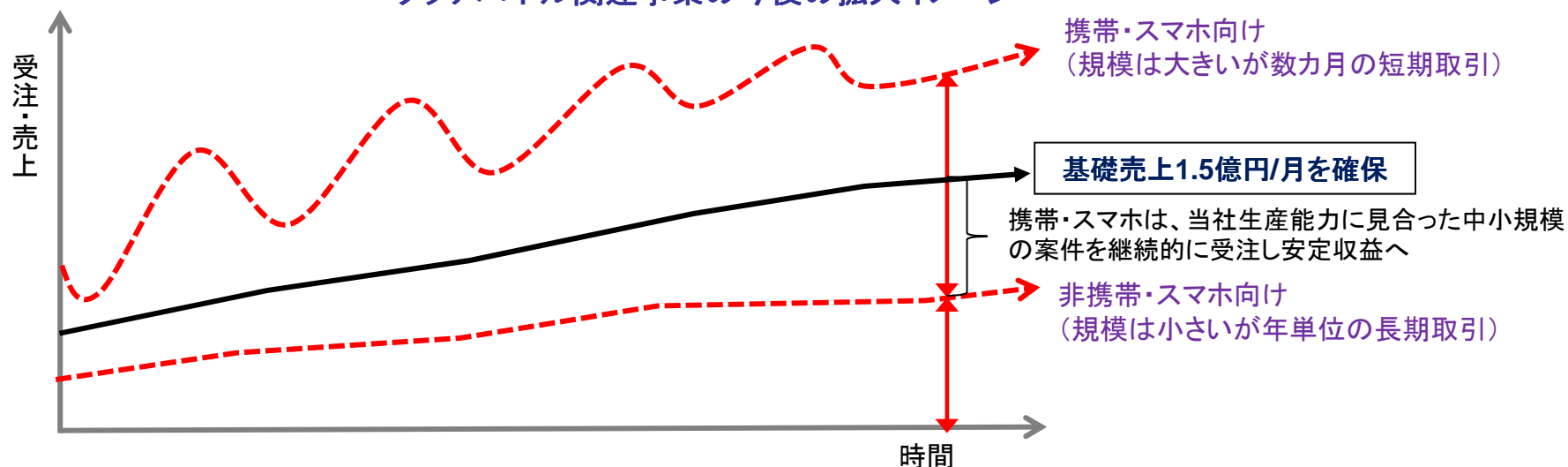
- タイ現地法人の設立
- 関東地域の生産拠点の統廃合

タッチパネル関連事業－受注活動



携帯・スマートフォン	<ul style="list-style-type: none"> 国内携帯向け2機種に採用。ともに4-6月の3ヵ月で4千万円/月程度の売上 7-9月に向けて同規模で3機種の受注獲得の見込み。下期以降の案件は未成約。またグローバル携帯向け受注にも引き続きチャレンジ
デジタルカメラ	<ul style="list-style-type: none"> 13/03期に獲得した日系大手メーカー向けの案件(5千万円/月)が継続 中小型ディスプレイメーカーへのアプローチは継続
車載・カーナビ	<ul style="list-style-type: none"> 高級車向け案件(1千万円/月)が継続 さらに500万円/月規模の受注が2機種確定。2年程度の長期取引が見込まれる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム機向けは好調。タブレット端末向けは低調の一方、電子ブック・電子辞書向けの案件は増加 産業用タッチパネルで500万円/規模の案件を数件受注(船舶・産業用ロボット等)

タッチパネル関連事業の今後の拡大イメージ



海外展開の今後の施策



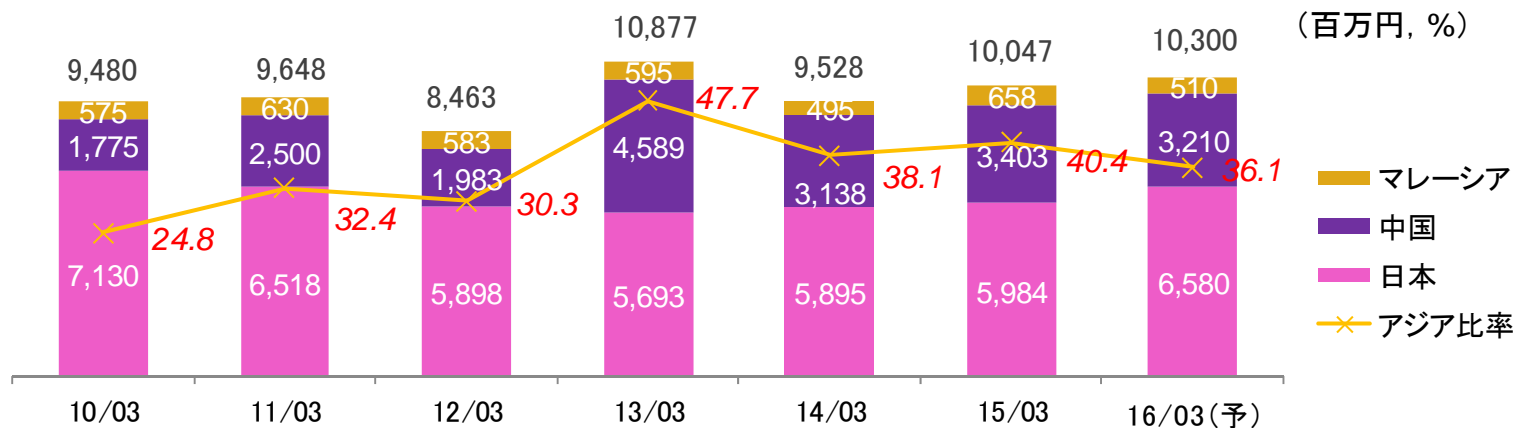
中国

- 一昨年から昨年にかけて赤字拡大の要因になったスマホ関係は、適正規模の受注を推進することで収益改善を見込む
- カーナビ等の車載関連、デジカメ向けの受注増による安定操業と設備稼働率の向上による利益改善を図る

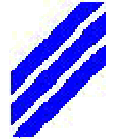
ASEAN

- マレーシアは、市場成熟・コスト高を受け顧客が減少。また得意先の多いタイからの受注が低迷
- 上記現状を受け、タイ国内に拠点を設け、あらためて日系メーカー中心に顧客獲得・取引の再開を推進する
- 製造面に踏み込んで日本本社より支援。歩留まりの改善等でコストダウンを進める

地域別売上高推移



タイ現地法人設立



新会社の概要

商号: SANKO SANGYO (BANGKOK) CO.,LTD

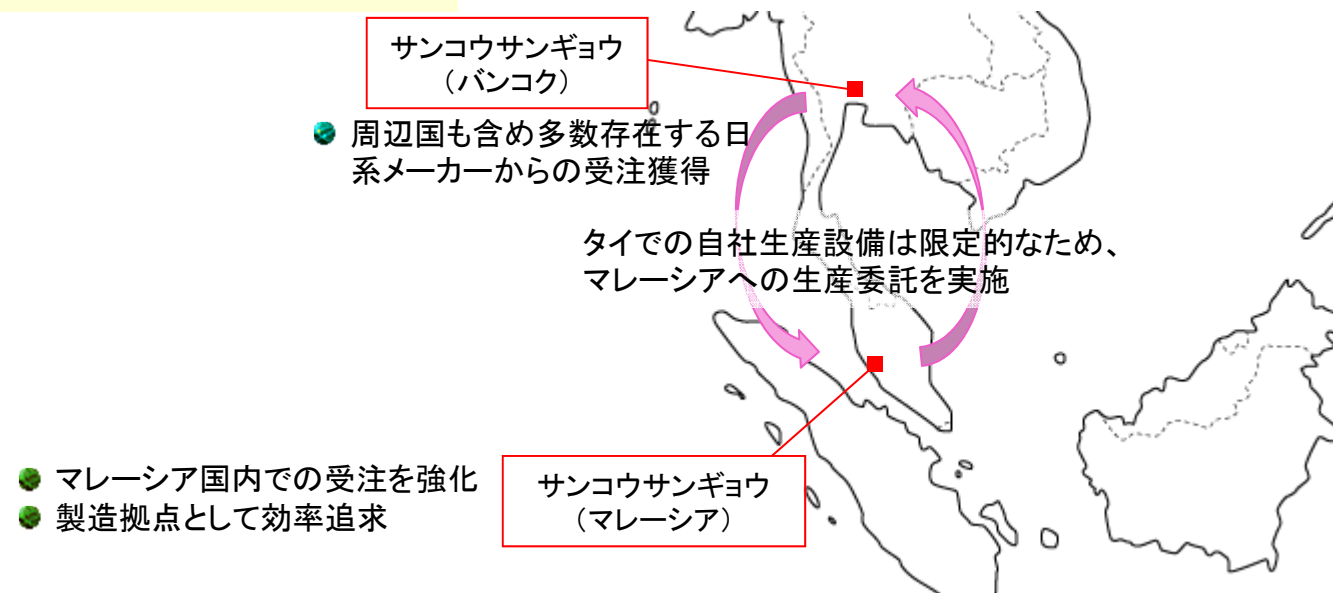
所在地: タイ王国 バンコク都

設立: 2015年5月

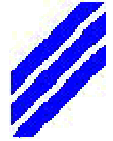
資本金: 2,000万バーツ (1TB=3.70円<6/5現在>)

資本構成: 当社100%

サンコウサンギョウ(マレーシア)との連携によるASEAN域内での受注・製造強化

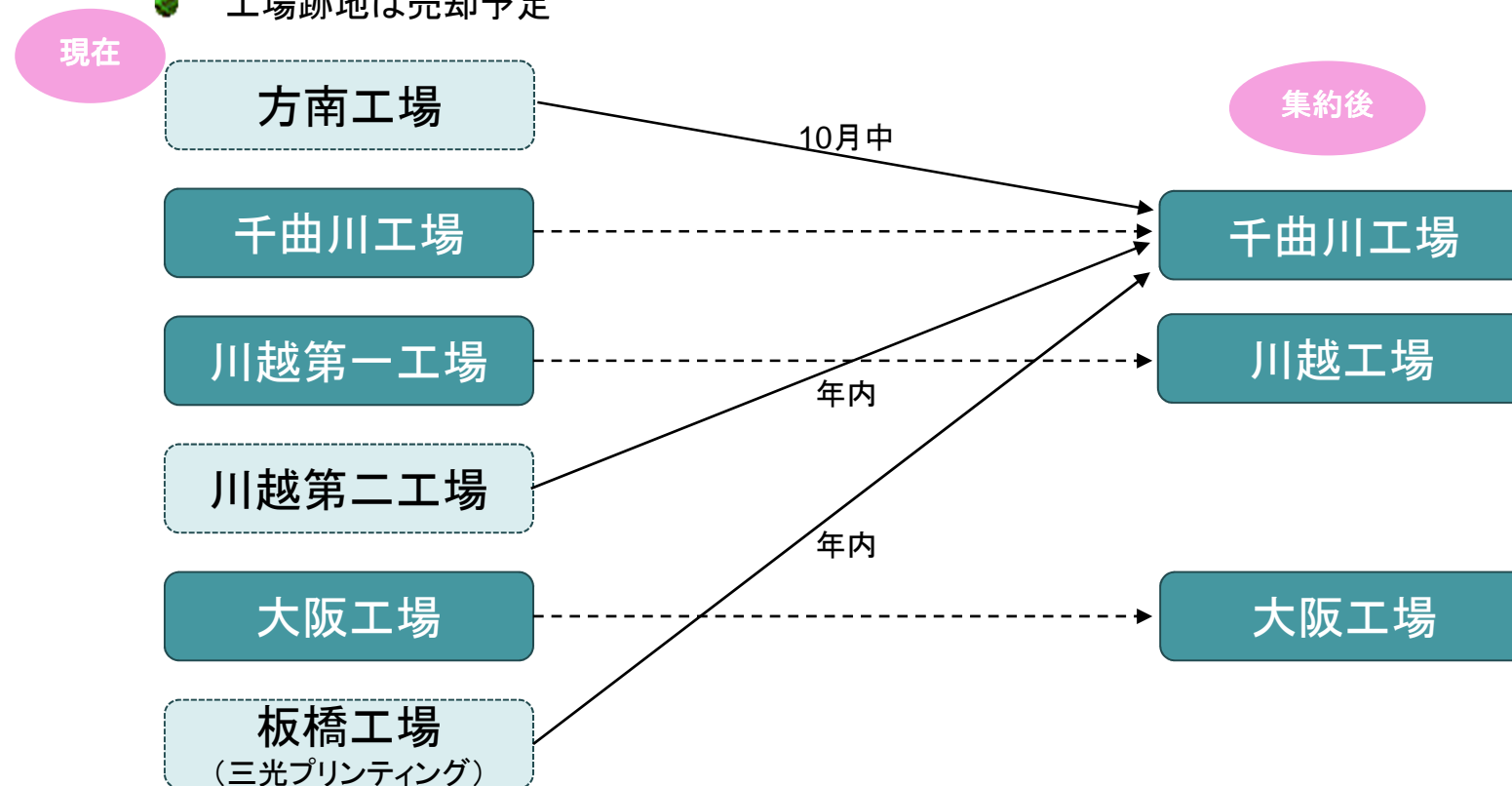


国内工場再編



国内製造拠点の統廃合を実施:5拠点6工場 ⇒ 3拠点3工場に集約

- 関東地区のシール印刷部門を千曲川工場へ集約。現千曲川工場敷地内に増設
- 段階的に集約を実施し、2016年1月までに千曲川にて完全操業
- 廃止する3工場的人员は原則千曲川工場に異動。採用抑制等で人員も適正規模に
- 工場跡地は売却予定



中期数值目標



株主還元・資本政策について

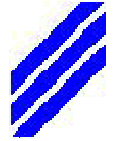


配当について

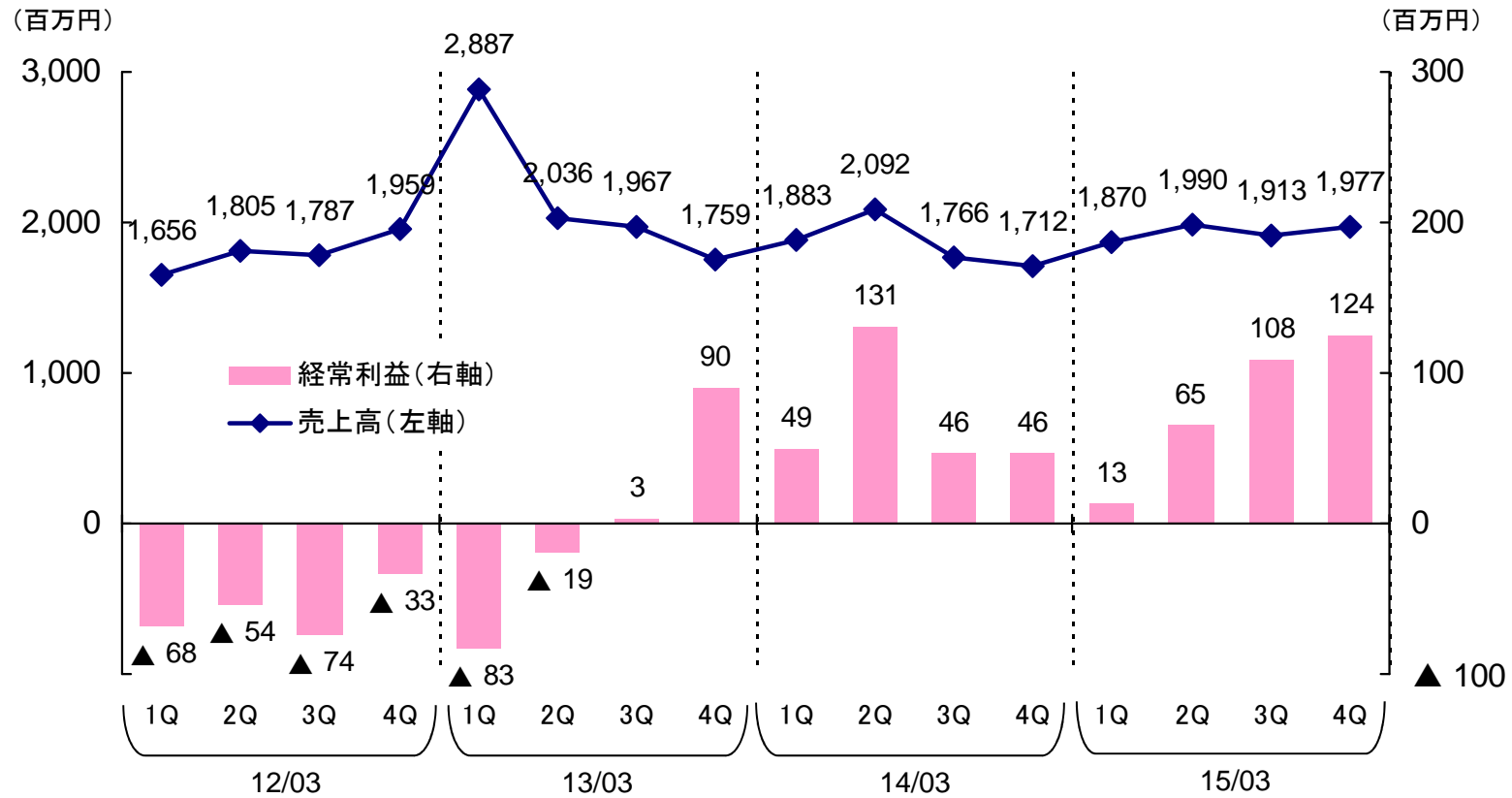
08/03期実績	13円	(13円の安定配当を継続)
09/03期実績	7円	(最終損失にともない減配)
10/03期実績	10円	(当初予定 普通配13円 ⇒ 普通配7円、50周年記念配3円)
11/03期実績	7円	} 収益状況・財政状態等を考慮し、7円配を継続(予定)
12/03期実績	7円	
13/03期実績	7円	
14/03期実績	7円	
15/03期見込	7円	
16/03期予想	7円	

補足資料

三光産業単体四半期業績推移



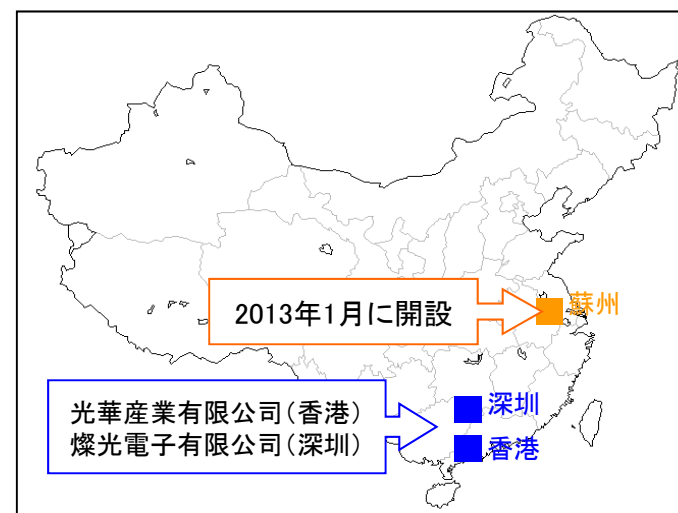
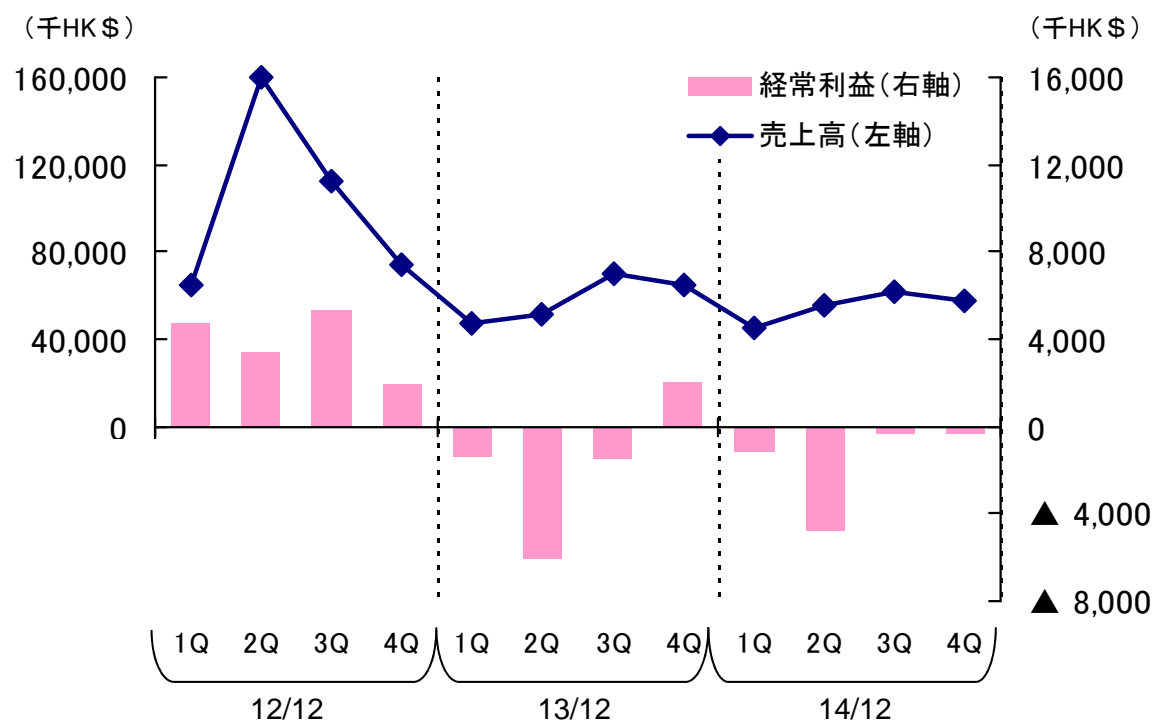
三光産業単体 四半期売上高・経常利益の推移



中国・光華産業の四半期業績推移



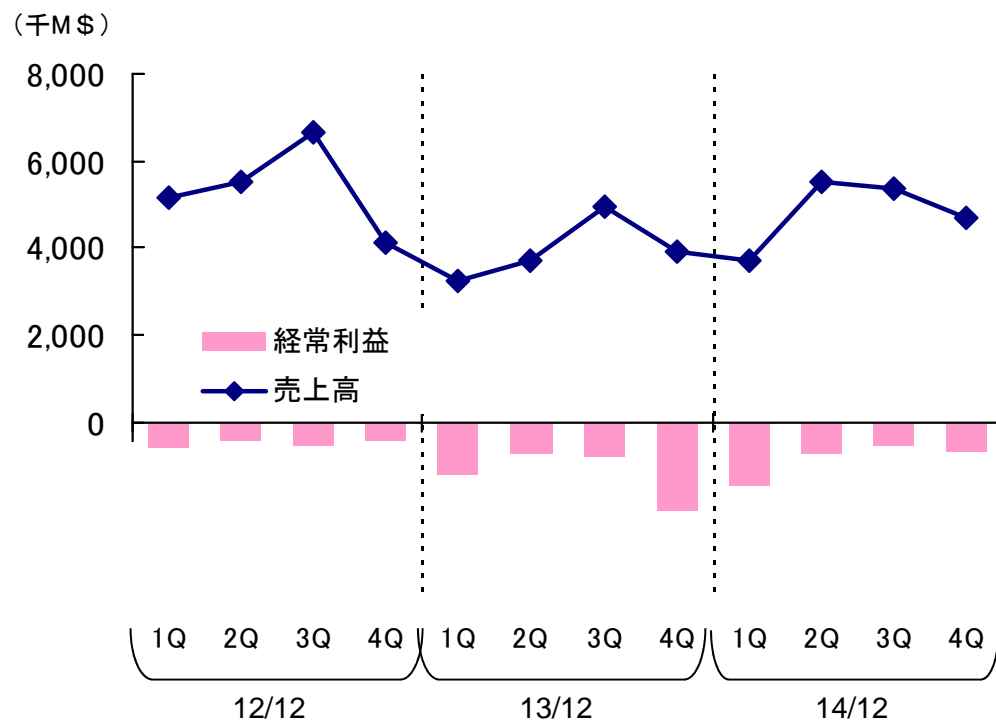
光華産業 四半期売上高・経常利益の推移



マレーシア・サンコウサンギョウ四半期業績推移



サンコウサンギョウ 四半期売上高・経常利益の推移



本資料に掲載されている三光産業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から三光産業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問合せ

取締役経理部長

高橋 光弘

TEL: 03-3403-8134

E-mail: m-takahashi@sankosangyo.co.jp